



— 東邦ガス株式会社 —

2024年3月期 連結決算説明資料

2024年4月25日

目次

1.	2024年3月期 連結決算の概要	…	3
2.	2025年3月期 連結決算の通期見通し	…	8
3.	電気事業の状況について	…	11
4.	株主還元の実施状況	…	12
<参考>	中期経営計画2022-2025の概要	…	13

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 2024年3月期 連結決算の概要

(1) お客さま数・販売量



エネルギー お客さま数

	2024.3期	2023.3期	増減	増減率	摘要
お客さま数 (千件)	3,000	2,921	79	2.7%	
都市ガス	1,747	1,741	6	0.4%	
LPG※	615	604	11	1.8%	
電気	638	576	62	10.7%	

※ 配送受託件数を含む

エネルギー 販売量

	2024.3期	2023.3期	増減	増減率	摘要
都市ガス (百万m ³)	3,370	3,454	△84	△2.4%	
家庭用	563	583	△20	△3.5%	気温影響△14 など
業務用等	2,806	2,871	△64	△2.2%	生産増減△30、需要開発+26、 その他個別要因△66 など
LPG (千トン)	465	475	△10	△2.1%	気温影響など
電気 (百万kWh)	2,579	2,369	209	8.8%	お客さま数の増など
<参考> 平均気温 (°C)	17.4	17.3	0.1	—	

1. 2024年3月期 連結決算の概要

(2) 収支状況

(単位：億円)



	2024.3期	2023.3期	増減	増減率
売上高	6,329	7,060	△730	△10.4%
売上原価	4,614	5,258	△644	△12.3%
供給販売費及び 一般管理費	1,379	1,364	14	1.1%
営業利益	335	437	△101	△23.2%
経常利益	407	481	△73	△15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	273	337	△64	△19.0%

	2024.3期	2023.3期	対前期比較
原油価格（全日本CIF）	86.0 ドル/バレル	102.7 ドル/バレル	16.7 ドル安
為替レート（TTM）	144.6 円/ドル	135.5 円/ドル	9.1 円安

1. 2024年3月期 連結決算の概要

(3) セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)



売上高		2024.3期	2023.3期	増減	増減率
	ガス	4,190	4,603	△413	△9.0%
LPG・その他エネルギー	1,015	1,105	△89	△8.1%	
電気	885	1,082	△196	△18.2%	
その他	543	545	△2	△0.4%	
調整額	△305	△277	△28	—	
連結売上高	6,329	7,060	△730	△10.4%	

営業利益		2024.3期	2023.3期	増減	増減率
	ガス	298	461	△162	△35.3%
LPG・その他エネルギー	30	23	6	29.3%	
電気	△59	△105	46	—	
その他	50	42	7	18.5%	
調整額	16	15	0	—	
連結営業利益	335	437	△101	△23.2%	

1. 2024年3月期 連結決算の概要

(4) 経常利益 増減要因 (対前年)

経常利益
 $\Delta 73$ 億円
 (481 \Rightarrow 407)

営業利益
 $\Delta 101$ 億円
 (437 \Rightarrow 335)

営業外収支
 $+27$ 億円
 (44 \Rightarrow 72)

ガス
 $\Delta 162$ 億円
 (461 \Rightarrow 298)

LPGその他
 $+6$ 億円
 (23 \Rightarrow 30)

電気
 $+46$ 億円
 ($\Delta 105 \Rightarrow \Delta 59$)

その他 (調整額含む)
 $+8$ 億円

■ ガス販売量の影響	$\Delta 20$ 億円
■ 原料関連の市況変動等の影響	$\Delta 145$ 億円
【内訳】	
・スライドタイムラグ	$+310$ 億円 ($\Delta 180 \Rightarrow 130$)
・原材料在庫の受払差	$\Delta 80$ 億円 (45 $\Rightarrow \Delta 35$)
・その他	$\Delta 375$ 億円
■ 経費等の影響	$+3$ 億円

(注) 括弧内の数値…左側：2023.3期利益の絶対値
 右側：2024.3期利益の絶対値

1. 2024年3月期 連結決算の概要

(5) 財政状況等

(単位：億円)



TOHO GAS

	2024.3期 期末	2023.3期 期末	増減
総資産	7,345	6,935	410
純資産	4,568	4,025	543
有利子負債	1,405	1,466	△61
自己資本 比率	62.2%	58.0%	4.2 ポイント
D/Eレシオ (倍)	0.31	0.36	△0.05
ROA	3.8%	5.0%	△1.2 ポイント
ROE	6.4%	8.6%	△2.2 ポイント

	2024.3期	2023.3期	増減
営業C F	473	564	△90
投資C F	△420	△524	103
(F C F)	(52)	(39)	(13)
財務C F	△142	△29	△113
現預金の 増減額	△83	17	△101
期末現預金 残高	254	338	△83
投融资	498	601	△103
減価償却費	384	362	21

2. 2025年3月期 連結決算の通期見通し

(1) お客さま数・販売量



エネルギー お客さま数

	2025.3期 見通し	2024.3期 実績	増減	増減率	摘要
お客さま数 (千件)	3,057	3,000	58	1.9%	
都市ガス	1,757	1,747	11	0.6%	
LPG※	640	615	25	4.0%	
電気	660	638	22	3.5%	

※ 配送受託件数を含む

エネルギー 販売量

	2025.3期 見通し	2024.3期 実績	増減	増減率	摘要
都市ガス (百万m ³)	3,411	3,370	41	1.2%	
家庭用	595	563	32	5.6%	気温影響+35 など
業務用等	2,816	2,806	9	0.3%	生産増減+30、需要開発+29、 その他個別要因△53 など
LPG (千トン)	486	465	20	4.4%	お客さま数の増など
電気 (百万kWh)	2,600	2,579	21	0.8%	お客さま数の増など
<参考> 平均気温 (℃)	16.5	17.4	△0.9	—	

2. 2025年3月期 連結決算の通期見通し (2) 収支状況等

(単位：億円)

	2025.3期 見通し	2024.3期 実績	増減	増減率
売上高	6,400	6,329	70	1.1%
営業利益	210	335	△125	△37.5%
経常利益	270	407	△137	△33.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	210	273	△63	△23.1%
投融資	680	498	182	36.6%
減価償却費	389	384	4	1.2%

【前提】

(単位：ドル/バレル、円/ドル)

	2025.3期	2024.3期	対前期比較
原油価格	90.0	86.0	4.0ドル高
為替レート	150.0	144.6	5.4円安

【感応度(年間)】

	ガス粗利
原油価格 +1ドル/バレル	△1億円
為替レート +1円/ドル	△2億円

2. 2025年3月期 連結決算の通期見通し (3) 経常利益 増減要因 (対前年)

経常利益
△137億円
(407⇒270)

営業利益
△125億円
(335⇒210)

営業外収支
△12億円
(72⇒60)

ガス
△184億円
(298⇒114)

LPGその他
±0億円
(30⇒30)

電気
+59億円
(△59⇒0)

その他 (調整額含む)
±0億円

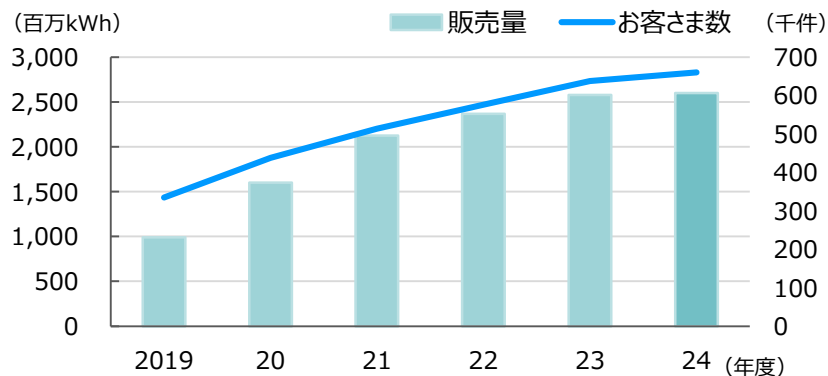
■ ガス販売量の影響	+40億円
■ 原料関連の市況変動等の影響	△265億円
【内訳】	
・スライドタイムラグ	△110億円 (130⇒20)
・原材料在庫の受払差	+35億円 (△35⇒0)
・その他	△190億円
■ 経費等の影響	+41億円

(注) 括弧内の数値…左側：2024.3期利益の絶対値
右側：2025.3期利益の絶対値

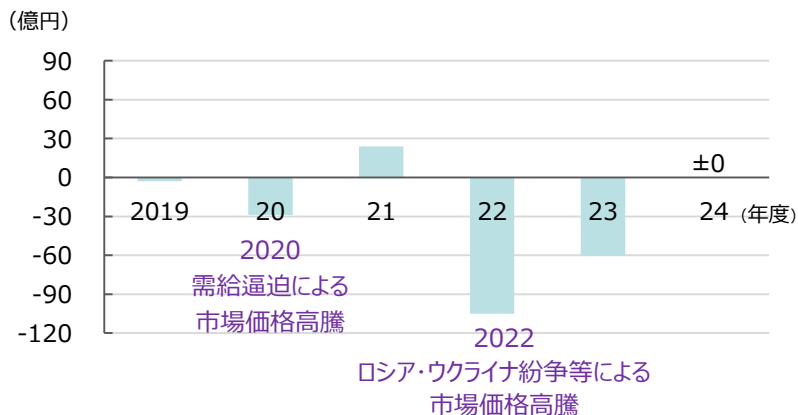
3. 電気事業の状況について

電気事業の実績・計画の推移

販売量・お客さま数



収支



収支改善に向けた取り組みの検討

① 収支の安定化・改善に資する調達ポートフォリオの構築

- ・複数社から分散調達し、個社毎の調達も契約年度や期間を分散
- ・相対契約、スポット調達を適切に組み合わせて調達
- ・小売燃調と調達ポートフォリオの構成を相似化

② 自社電源保有の検討

- ・大規模かつ高効率で、発電コストの競争力も高い自社電源の検討
- ・小規模だが柔軟な出力変動が可能なガスエンジンや、柔軟な充放電が可能な系統用蓄電池の活用

③ お客さまのニーズ多様化に応えることができるような料金・サービスの拡充

4. 株主還元の実施状況

■ 自己株式の取得（2024年3月28日公表済）

上限400万株、100億円の自己株式の取得を決議（2022年度までの中長期の業績等の状況を踏まえて決定）。
取得期間は、2024年4月1日から9月30日。

■ 2023年度の配当金

2023年度期末配当は1株あたり40円を予定（対前期末10円増配）。
2023年度は通期で1株あたり70円、2024年度は通期で1株あたり80円を予定。

単位：億円

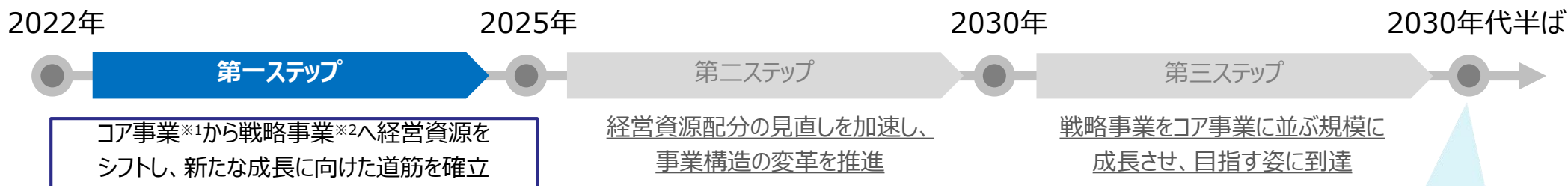
年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 (計画)
連結当期純利益	430	177	180	148	162	85	154	337	273	210
年間配当額	54	53	55	58	58	58	60	63	73	84
[1株あたり配当金]	[50円]	[50円]	[52.5円]	[55円]	[55円]	[55円]	[57.5円]	[60円]	[70円]	[80円]
自己株取得	45	29	-	29	-	-	15	※ 100	-	-
株主還元 計	99	82	55	87	58	58	76	163	73	84

※ 2022年度までの中長期の業績等の状況を踏まえて決定

<参考> 中期経営計画2022-2025の概要

① 中期経営計画の位置づけ

中期経営計画は、グループビジョンで掲げた2030年代半ばに目指す姿の実現に向けた第一ステップと位置づけ、4つのテーマへの取組みにより、新たな成長に向けた道筋を確かなものにします。



中計期間（2022年度～2025年度）に取り組む4つのテーマ

01 カーボンニュートラルの推進

02 エネルギー事業者としての進化

03 多様な価値の創造

04 SDGs達成への貢献

2030年代半ばに目指す姿

地域における
ゆるぎない
エネルギー
事業者

エネルギーの枠を超えた
暮らし・ビジネスの
パートナー

持続可能な
社会の実現を
リードする
企業グループ

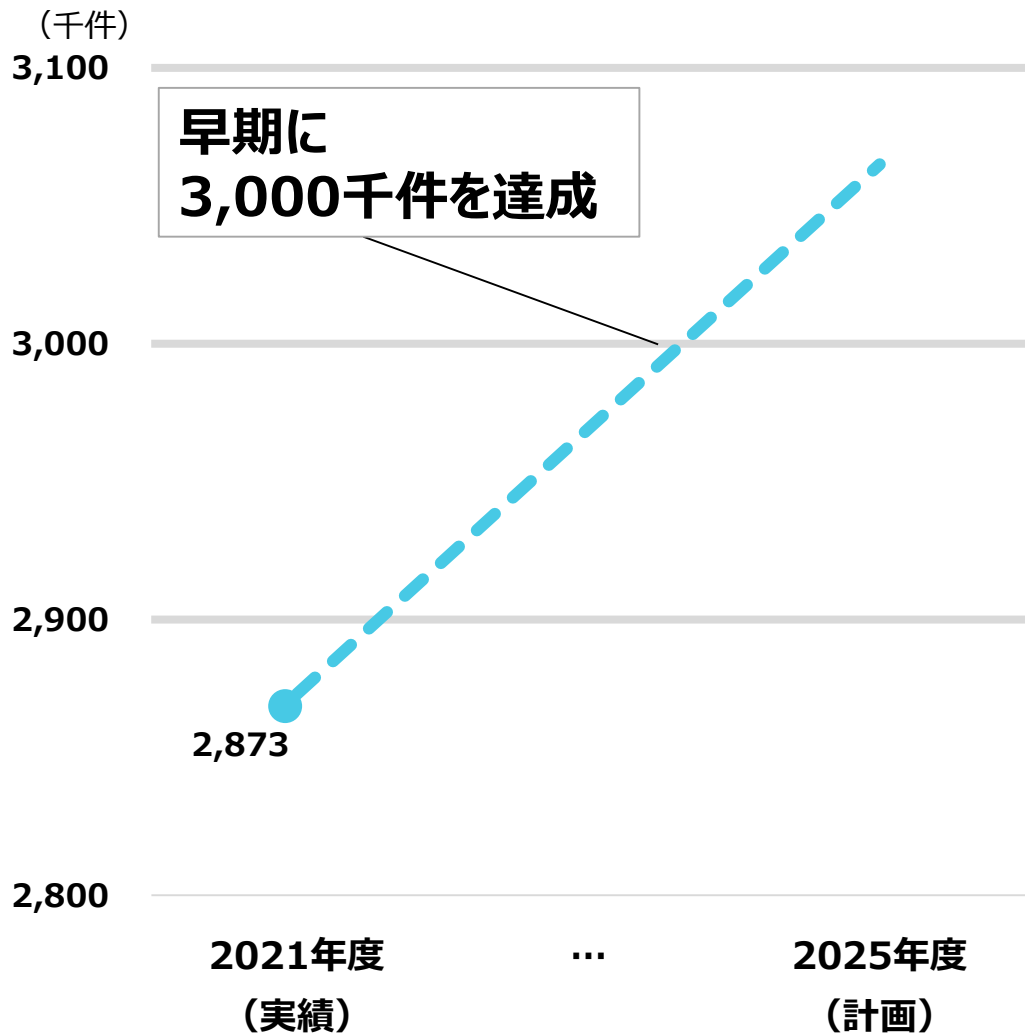
※1 都市ガス・LPGなど、長期安定的な収益基盤としてキャッシュフローを創出する事業

※2 電気・エネルギーサービス・暮らし/ビジネスサポートなど、中長期的な成長を牽引する事業

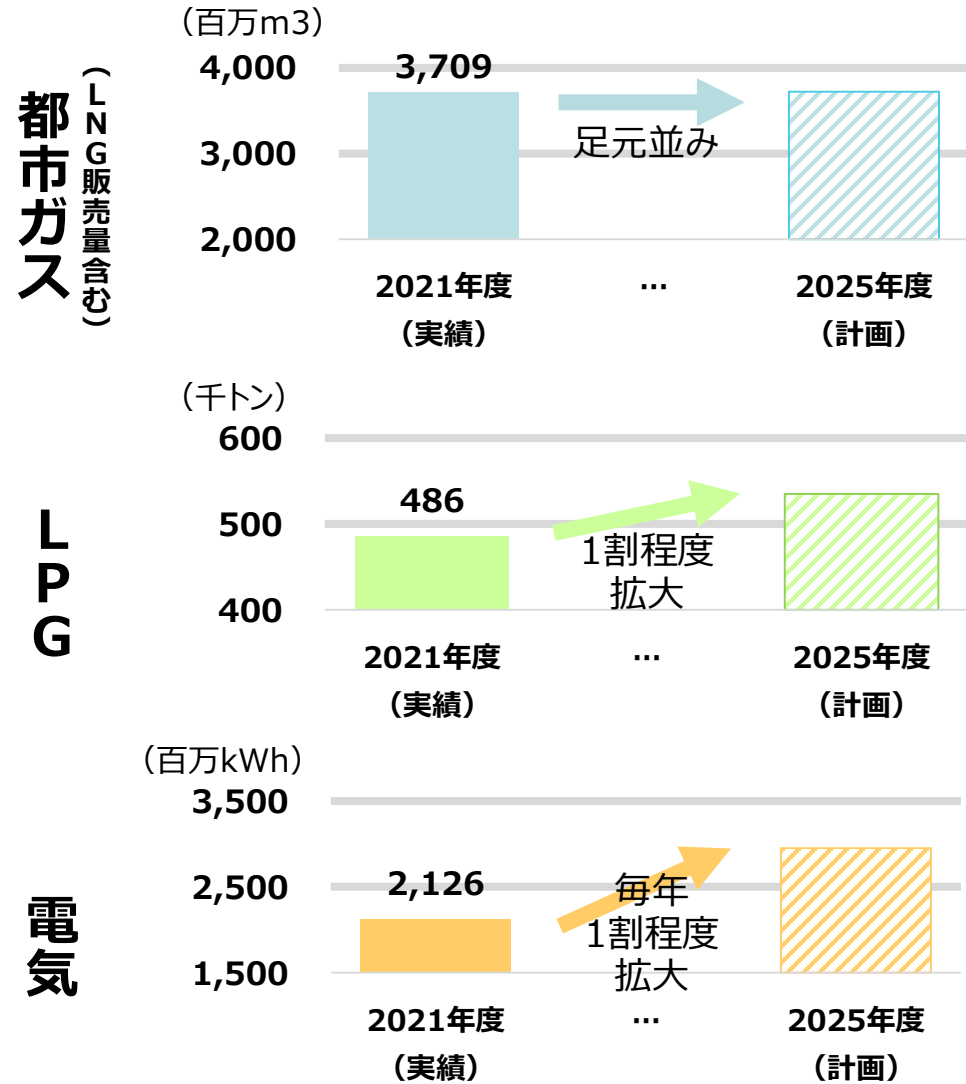
<参考> 中期経営計画2022-2025の概要

② 数値目標

エネルギーお客さま数



エネルギー販売量



<参考> 中期経営計画2022-2025の概要

③ 経営指標



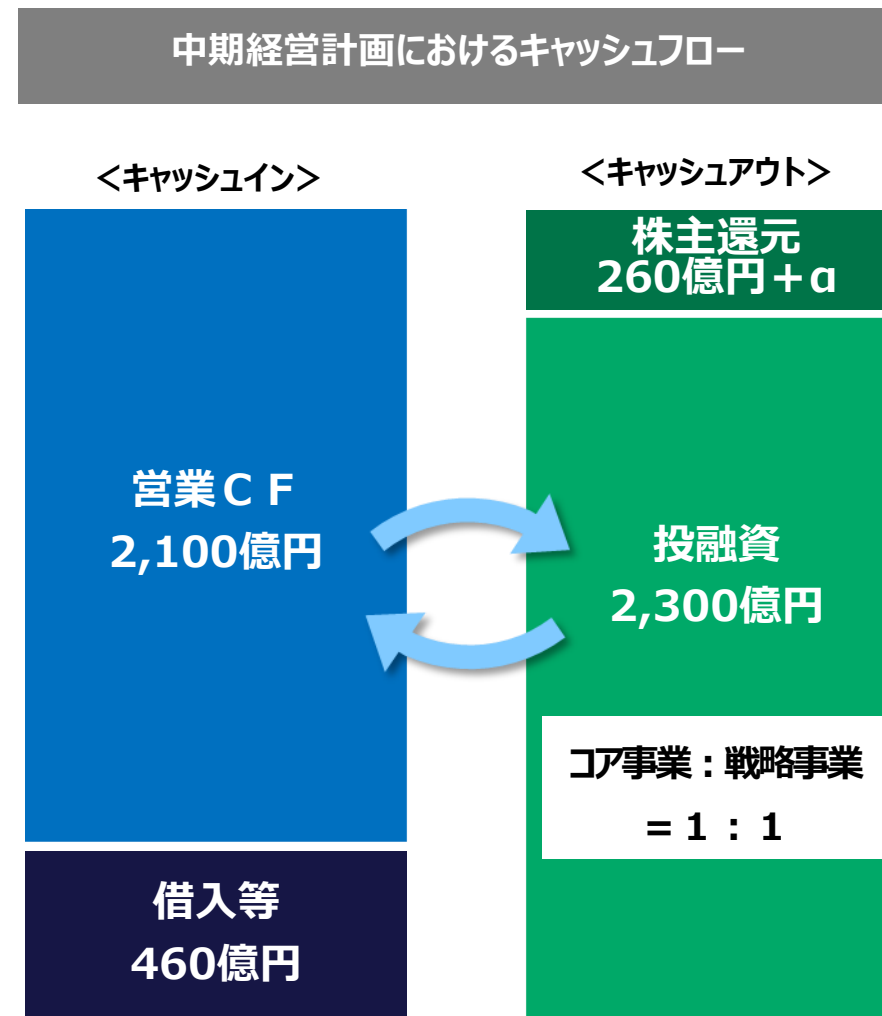
- 方針**
- 営業キャッシュフローの創出力を維持しつつ、持続的な成長に向けた投資を加速
 - 投資拡大局面においても効率性や健全性のバランスをとって全体を管理

	経営指標	経営目標
収益性	営業キャッシュフロー	2,100億円 以上 (2022~2025年度累計)
効率性	ROA	3%程度 ^{※1} > WACC ^{※2} (2025年度)
健全性	D/Eレシオ	0.6程度 (2025年度)

※1 2025年度の連結経常利益250億円程度 ※2 WACC = 資本コスト: 2%台半ば

株主還元方針

安定配当を基本とし、機動的な自己株取得・消却を合わせ、中長期的に連結当期純利益の4～5割を目安として株主還元を実施





TOHO GAS